

「障害のある人の支援」に関する市民意見

●第3章 第5節 「障害のある人の支援」について

【事業に対する意見等】

【具体的施策 No100、障害者啓発事業】

亀岡市の中の障害者の人数や年齢層、障害の種類割合などが知りたいです。そうすれば、より障害者への配慮がしやすいと思います。

【具体的施策 No101、障害者福祉大会の開催】

障害者と健常者がともに参加する運動会を行ってほしいです。優勝した障害者に何か「大使」を任命し、他の交流イベントでも活躍してほしいです。

【具体的施策 No102, 108、障害者生活支援委託事業】

障害者相談支援センター「お結び」の年間利用者が増えているのか、減っているのか気になります。

【具体的施策 No106、就労移行支援、就労継続支援】

障害者の就労支援区分で、A, Bとあるが亀岡市の施設について、ホームページで詳細を記載してほしいです。

【具体的施策 No107①、亀岡市障害者就労支援業務の発注】

一般企業に障害者の雇用を奨励する制度を作るのも良いと思います。日本理化学工業（全社員の内、障害者の割合が70%以上）の事例等も紹介し、一般企業に呼びかけることも大事であると思います。

【具体的施策 No111、亀岡市避難行動要支援者名簿等要配慮者への支援制度の運営】

積極的に実施、運営されているのか気になります。

【施策に対する意見等】

・障害者に対して行っている事業などについて、もっと市民に見える形で積極的に発信してほしいです。

・子どもは未来の担い手です。各小、中、高校で障害者に対する理解促進の授業や支援の事業を紹介し、ボランティア活動を子供たちに参加してもらおうとよいと思います。

「障害者は身近な存在だ」「自分は障害者を理解し、支援する責任がある」という考えを小さい頃から根付かせる事業、仕組みがあればと思います。